



# 検査室からの お知らせ

No.011  
2015.03.03

発行：気仙沼市医師会  
臨床検査センター検査室

こんにちは！いつも当センターをご利用いただきありがとうございます。  
しばらく「検査室からのお知らせ」をお休みしているうちに春の陽気になってしまいました

新入生、新人さんを迎えるシーズンです。私たちも初心にかえって業務に励みたいと思います。

さて、今回は日頃看護師の皆様に行っていただいている採血について、採血時の注意点などを再確認したいと思います。



文責：菊池

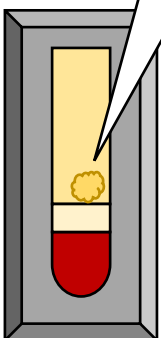
## 採血に関するこんなこと！

採血をする際に気を付けていただきたいのが、血液の凝固や採血量、採血後の検体放置時間です。採血後に十分な時間を置かずに遠心分離をしてしまうと、フィブリンが析出し、検査結果に影響を及ぼす恐れがあります。検査機器のトラブルの原因となる場合もありますので、ご協力をお願い致します。

なぜ、  
フィブリンが  
出るの？



これが  
フィブリンです



フィブリンの正体は、簡単に言うと「スパイダーマンが出す」網「のようなものです。」

血液が凝固するための必要な因子の1つにフィブリンがあります。それが消費されないうちに遠心を行ってしまうと、血清中にフィブリンが残ってしまいます。通常採血後凝固するまでには30分程かかりますが、当センターの採血管には凝固促進剤が塗布されている為、10分間の放置により血液が凝固します。これだけでフィブリン析出が回避されますよ！

ワンポイント  
アドバイス！

当センターで使用している採血管は真空採血管となっています。採血後、キャップに針を穿刺すると自動的に必要量が吸入されます。この際にシリンジを押してしまうと血球が破損し溶血の原因となりますのでご注意ください。

